

農作物技術情報 第6号 果樹

発行日 令和元年 8月 29日
 発行 岩手県、岩手県農作物気象災害防止対策本部
 編集 岩手県農林水産部農業普及技術課 農業革新支援担当（電話 0197-68-4435）

携帯電話用 QR コード



「いわてアグリベンチャーネット」からご覧になれます
 パソコン、携帯電話から「<https://i-agri.net/Index/gate002>」

- ◆ りんご 早生種の熟度はほぼ平年並！適期収穫の徹底を！！
- ◆ ぶどう 熟度は平年よりやや早いと推察！食味を重視した適期収穫を！！

りんご

1 生育概況について

(1) 果実生育（表1）

定点観測地点の果実生育（横径）調査結果を県平均で見ると、8月21日時点で平年比100～104%、前年比99～101%で、高温・少雨の影響からか、やや生育が停滞した傾向はあるものの、全般的には概ね順調に生育しています。ただし、高温の影響と思われる日焼け果も見られるため、成熟不良果やサビ果、奇形果等と合せて、随時見直し摘果を行いましょ。

(2) 果実品質（図1～3）

定点観測地点の「つがる」の8月21日時点の果実品質調査結果を見ると、県平均で硬度・糖度・デンプン指数ともほぼ平年並、になっています。また、今年の開花は平年よりやや早い程度であり、満開起算日数でも熟度の進みはほぼ平年並と推察されることから、総じて暦日でも、満開起算日数でも、ほぼ平年並の時期に収穫期を迎えそうです。

なお直近の一个月予報で、9月の気温は平年並から高いと予報されているため、着色の遅れや貯蔵性の低下等が懸念されますので、各地域で普及センターやJAが提示する収穫期の情報を確認し、適期収穫を心がけましょ。

表1 県内の定点観測地点における果実生育（横径）状況（8月21日時点）

単位:mm

市町村 ・地区・公所	つがる					ジョナゴールド					ふじ				
	本年 (R1)	平年	比	前年 (H30)	比	本年 (R1)	平年	比	前年 (H30)	比	本年 (R1)	平年	比	前年 (H30)	比
農研センター	89.2	83.1	107%	84.3	106%	88.2	79.9	110%	81.7	108%	74.6	74.1	101%	76.3	98%
岩手町一方井	78.6	80.6	98%	80.6	98%	77.3	78.4	99%	77.8	99%	74.5	72.0	103%	73.2	102%
盛岡市三ツ割	80.2	80.6	100%	80.0	100%	81.9	78.8	104%	79.8	103%	74.2	73.1	102%	73.0	102%
紫波町長岡	82.2	83.5	98%	83.4	99%	81.7	78.4	104%	77.9	105%	76.0	75.1	101%	78.5	97%
花巻市上根子	83.0	82.3	101%	81.7	102%	77.5	79.9	97%	75.1	103%	72.3	71.9	101%	72.1	100%
北上市更木						82.4	83.1	99%	83.9	98%	81.4	77.4	105%	82.3	99%
奥州市前沢稲置	85.8	83.4	103%	81.8	105%	80.0	79.1	101%	79.5	101%	77.3	75.1	103%	75.7	102%
奥州市江刺伊手	78.8	80.1	98%	76.8	103%	87.7	79.8	110%	79.9	110%	76.3	70.9	108%	75.0	102%
一関市花泉町金沢	84.5	82.7	102%	85.8	98%	81.4	79.5	102%	84.6	96%	75.2	70.5	107%	68.4	110%
一関市大東町大原						78.2	77.2	101%	79.2	99%	74.8	73.4	102%	75.0	100%
陸前高田市米崎	82.7	82.5	100%	84.5	98%	79.4	78.7	101%	83.0	96%	75.5	72.6	104%	78.6	96%
宮古市崎山	81.3	80.6	101%	86.7	94%	79.7	81.0	98%	82.5	97%	82.3	74.7	110%	79.9	103%
岩泉町乙茂						92.4	78.2	118%	91.6	101%	77.7	73.0	106%	79.8	97%
洋野町大野	83.0	77.7	107%	70.8	117%	73.5	76.0	97%	69.3	106%	67.5	69.7	97%	66.9	101%
二戸市金田一						77.0	79.2	97%	81.7	94%	79.2	74.1	107%	79.9	99%
県平均値	81.9	81.8	100%	82.4	99%	81.3	79.3	102%	81.3	100%	76.7	73.4	104%	76.3	101%

※ 県平均値に農研センターと洋野町のデータは含まれていない。

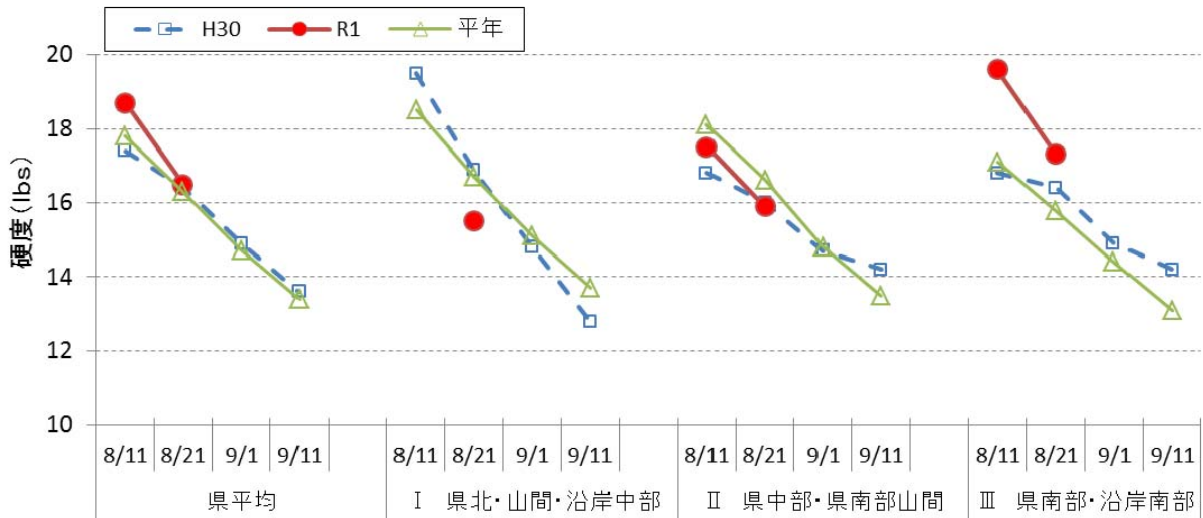


図1 定点観測地点における「つがる」の硬度の経時変化

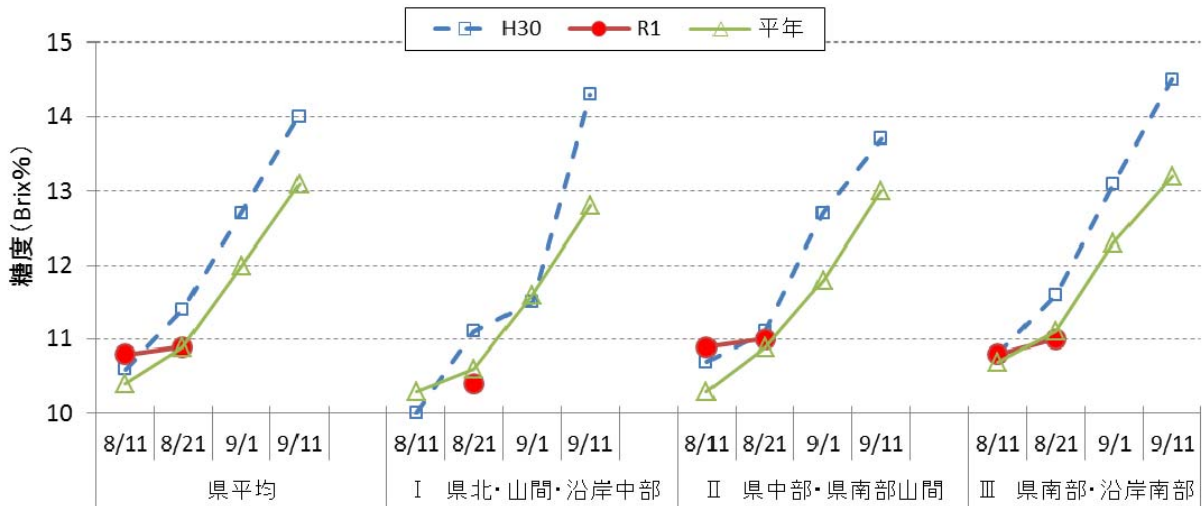


図2 定点観測地点における「つがる」の糖度の経時変化

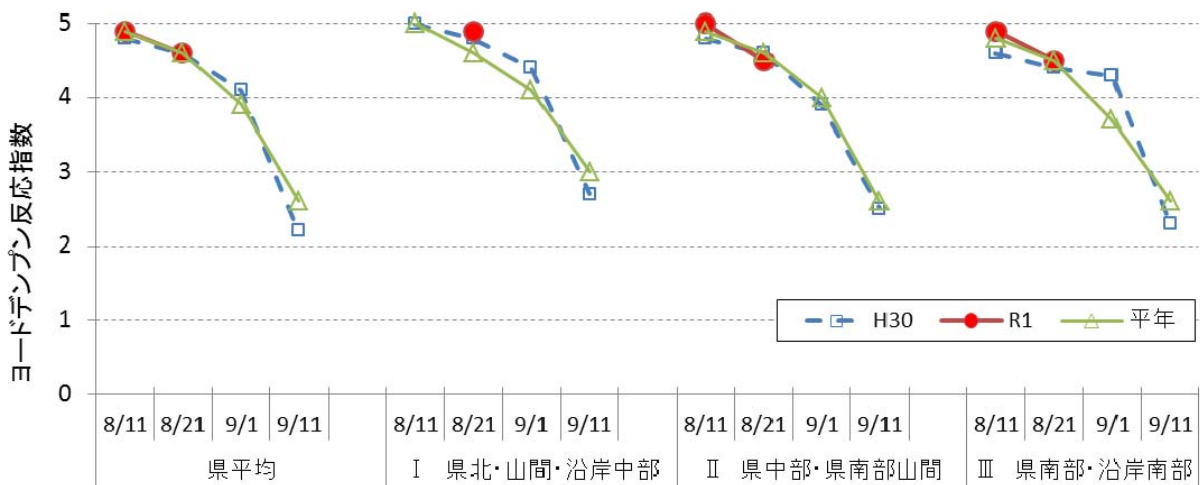


図3 定点観測地点における「つがる」のデンプン指数の経時変化

2 栽培管理のポイントについて

(1) 早生種の着色管理

葉摘み作業が遅れている場合でも、果皮に急に直射日光が当たると日焼けが発生しますので、徐々に葉摘みを進めましょう。高温が予想される日には、極力、果面の温度が上がる午後から実施しましょう。

(2) 早生種の収穫（表2）

ア 一般にりんごは満開後一定の日数で成熟する傾向があり、この日数は品種によってほぼ定まっています。今年の満開日から見た収穫期の目安は表2のとおりですが、本目安は北上市成田の満開日より算出しており、県南の平場ではこの予想日より早まることも予想されます。

イ また、現時点の1ヶ月予報（8/22発表）で向こう1か月の天候の見通しは、平均気温は平年並か高い、日照時間は平年並か少ない、見込みとされています。したがって、高温・日照不足によって着色が緩慢となり、着色と内部品質が一致しないまま収穫期を迎える可能性もあるため、過度な着色は期待せず、食味・硬度等を確認の上、適期収穫に努めましょう。

ウ すぐりもぎが基本です。特に熟期が不揃いな「つがる」や「きおう」は徹底しましょう。

表2 早生種の収穫期の目安

品種	満開日 ^{※1}	収穫期 までの 満開後数	満開後日数 による 収穫予想日	収穫期の果実品質の目安			
				硬度 (lbs)	糖度 (Brix%)	デンプン 指数	カラーチャート 指数 ^{※2}
紅ロマン	5月5日	100~110日	8/13~8/23	-	12~14	2.5~3	2.5~3
さんさ	5月6日	115日	8/29	13.5~14	13~14	2~3	2~3
きおう	5月7日	115~125日	8/30~9/9	13~14	13以上	2~3	2.5~3.5
つがる	5月10日	115~125日	9/2~9/12	13~14	12~14	3~3.5	2~3

※1 満開日は農業研究センター(北上市成田)観測日

※2 紅ロマン、さんさ、つがるはふじ地色用、きおうはきおう表面色用を使用

(3) 「紅いわて」の収穫

ア 「紅いわて」は着色の良い品種であるため、着色のみで収穫を判断し、収穫が早すぎてしまうと食味が劣り、品種の評価を落とすこととなります。食味を重視し、表3の目安を参考に収穫を行ってください。

イ なお、系統販売等、輸送して販売を実施する場合はデンプン指数2~2.5、直接販売を実施する場合はデンプン指数2程度を目安に収穫を行ってください。

表3 「紅いわて」の収穫期の目安

満開日 起算日数	満開日 [※]	満開日起算 による収穫予想日	硬度 (lbs)	糖度 (Brix%)	デンプン 指数
130~140日	5月10日	9/17~9/27	13以上	13以上	2~2.5

※: 満開日は、農業研究センター観測日

(4) 中生種の着色管理

ア 「ジョナゴールド」などの着色管理は、1回目の軽い葉摘み終了後、陽光面の着色が進んでから、葉や枝カゲをつくらないように玉回しを収穫まで2~3回行います。玉回しと同時に適当な強さに葉を摘みます。

イ りんごの着色適温は10~20℃です。気温の高い日が続くと、必要以上に葉摘みを強くしても

着色は進まないのので、過度の葉摘みとならないよう注意します。

(5) 「ふじ」の着色管理

ア 「ふじ」は、着色期間が30～40日間と長いため、陽光面が着色してきた頃（9月下～10月上旬）と10月中～下旬の2回に分けて葉摘みを行います。1回目の葉摘みは、果実に密着する葉を摘む程度とし、2回目は適度な強さまで葉を摘み、陽光面の着色が進んできたら葉や枝カゲを残さないよう玉回しを行います。

イ 過度の葉摘みは、葉が少なくなり果実の着色や蜜入りが劣り、翌年の花芽の充実が悪くなるなどマイナスの影響が出ますので注意してください。

3 病虫害防除および気象災害対策

(1) 病虫害防除

ア 7月25日に病虫害防除所から褐斑病の注意報が発表されています（写真1）。

本病の発生が確認された場合は、速やかにトップジンM水和剤またはベンレート水和剤を特別散布してください。

イ 黒星病についても、県内広く発生が確認されています。他病害との同時防除を兼ねて、本病に効果のある予防剤を定期的に散布してください。その際には散布ムラがないように十分な薬液量を丁寧に散布しましょう。また降雨が予想される場合は、降雨前に散布を行ってください。

そして園地を見回り、発生が確認された場合は見つけ次第、発病葉や発病果を摘み取り、土中に埋めるなど適正に処分してください。苗木など未結果樹での発生にも注意し、成木と同様に薬剤防除を徹底しましょう。

ウ 今後の気象条件によっては、斑点落葉病やハダニ類等が多発する恐れもありますので、病虫害防除所が発表する予察情報等を参考に、必要な防除を実施しましょう。

エ 早生品種の収穫期となりましたので、農薬の使用にあたっては、それらへのドリフトと、使用基準（倍率、収穫前日数等）は十分に注意してください。



写真1 褐斑病の病徴（黒色虫糞状の粒々が特徴）

(2) 台風対策

これから、台風が多く発生する時期になります。強風で倒木が発生しないよう、防風ネットの設置、支柱との結束を確認してください。また、気象情報に注意し、台風の接近前に収穫を進めるなど、被害を最小限にできるよう対策を講じてください。

(3) 湿害対策

台風に伴う大雨や秋の長雨など、園地内が過湿となった場合、裂果や根部の障害による樹勢衰弱の要因となります。園地内に水が停滞しないよう、溝を掘るなど排水対策を講じましょう。

ぶどう

1 生育状況について

8月25日時点の定点調査地点における「キャンベルアーリー」の果実品質は（表4）、平年と比較して房長・果径はやや小さいものの、糖度は高く、着色始期も早まったので、熟度は平年よりやや進んでいるものと推察されます。

なお、向こう1か月の天候の見通しは、平均気温は平年並か高い、日照時間は平年並か少ない、見込みとされています。したがって、高温・日照不足で着色が緩慢となる可能性もありますので、過度な着色は期待せずに、食味を重視した適期収穫が重要です。

表4 「キャンベルアーリー」の生育状況（調査地点：紫波町）

調査年次	着色始期 (月/日)	8月25日時点での生育				
		新梢長 (cm)	節数 (葉数)	房長 (cm)	果径 (mm)	糖度 (brix%)
本年(R1)	8/3	136	18.5	14.6	18.8	12.6
平 年	8/7	135	17.5	15.5	19.5	11.6
平年差・比	-4	101%	106%	94%	96%	109%
前年(H30)	8/3	136	16.6	14.3	19.6	15.6
前年差・比	0	100%	111%	102%	96%	81%

2 収穫について

収穫は着色、糖度などの食味に留意しながら、品種ごとの基準糖度に達してから行います。過熟になると、商品価値が低下し、裂果や脱粒の発生も助長しますので、過度に着色は期待せず適期収穫に努めましょう。

※ 詳細は、7月25日発行の「農作物技術情報第5号 果樹」を参照ください。

次号は9月26日（木）発行の予定です。気象や作物の生育状況により号外を発行することがあります。

農業普及技術課農業革新支援担当は、農業改良普及センターを通じて農業者に対する支援活動を展開しています。